

富山県でのキシノウエトタテグモの記録

著者	石須 秀知, 根来 尚
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	38
ページ	131
発行年	2014-06-20
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=1002

短 報

富山県でのキシノウエトタテグモの記録*

石須 秀知
魚津埋没林博物館
937-0067 魚津市釈迦堂814

根来 尚
富山市科学博物館
939-8084 富山市西中野町1-8-31

Latouchia swinhoei typica taken
in Toyama Prefecture

Hidetomo Ishizu and Hisashi Negoro

キシノウエトタテグモは、本州、四国、九州に分布する地中棲のクモである。日本海側では山形県が北限となっているが、富山県では未発見であった。

本種は、寺社境内や公園、崖地などの比較的明るい所の地中に縦坑を掘り巣とし、坑の入り口に蓋をしている。このような巣を造るため、見つけづらいものである。

また、本種は人の居住区域に近く生息しており、生息地が失われやすく全国的に減少してきているとのことである。

石川県では金沢市内の3カ所から発見されていて、石川県のレッドデータブックでは準絶滅危惧種に指定されている。また、環境省のカテゴリーでも準絶滅危惧種とされている。

本種が、以下のように得られているので報告する。

キシノウエトタテグモ *Latouchia swinhoei typica*
(kishida, 1913)

採集個体：1♂ (図1)

採集場所：富山市奥田新町

採集日：2013年10月25日

採集者：石須 菖一郎

本個体は、採集者から富山市科学博物館に寄贈され保管される。

本個体は、巣中において発見されたものではなく、道路上を歩行中の♂個体が得られたものであり、鋭意探索中であるが、まだ、土中の巣は発見されていない。



図1 キシノウエトタテグモ♂

文献

徳本 洋, 2009. キシノウエトタテグモ. 「改訂・石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしわかレッドデータブック [動物編] 2009」石川県野生生物保存対策調査会 (石川県環境部自然保護課) : 434.

* 富山市科学博物館研究業績第469号